南あわじ市長職務執行者

江 和

効率化と能力の

向上を図り、

い状況が続く

行財政の

南あわじ市では、

旧町の役

の高いサ

ービスを提供してま

口」としてこれまで以上の質できる「市民のための総合窓

齢化など地域にとって大変厳

地方分権の進展、

少子・高

有ちっい言、を進めることとしています。 しんしくり、まちづくり

多様化・高度化する住民ニー

ズに責任を持って応えること

式を採用し

業務を開始いた

をそのまま活用する分庁舎方 場庁舎と三原郡生活文化会館

します

地域性や庁舎規模な

指したものであります。のできる行政規模の再編を目

ごあ

いさつ

長

▲開庁式で式辞を述べる長江和幸職務執行者

世代が共生するコミュニティ交流創出の場とし、さらに多

利便性、

即応性を高めており

市民生活に必要なほと

共有を図り連絡体制を整えて 用通信網をめぐらせて情報の 窓口」を設けるとともに、

域の安全・安心確保と雇用や 徴ともいえる第一次産業を地 将来像として定め、

地域の特

場庁舎には、それぞれ「総合

専

どを考慮して各部を分散配置

いたしております。

旧町の役

くむふれあい共生の都市」を南あわじ市は、「食がはぐ

風土づくりをめざして~

共生の都市」

とご協力に心からお礼を申し

住民の皆様の深いご理解

心より敬意を表します

いただきました関係各位には、

合併の実現にあたりご尽力

が誕生いたしました。

とつになり、 西淡、三原、

本日「南あわじ 南淡の四町がひ から深いつながりがある、

緑

地理的にも歴史的にも古る

~一人ひとりの笑顔がみえる生涯現役の

「食がはぐくむふれあい

南あわじ市の将来像

南あわじ市においては、最大の特長ともいえる1次産業を、農水 産物の生産の場としてだけでなく、「食」を柱とした地域の安全、安 心の確保や、他の産業との連携による雇用や交流創出など、広く 食(職)づくり、人づくり、まちづくりの場として多様な活動に生かし ていくことが望まれます。

南あわじ市は、地域の豊かな自然と新しい魅力、若者と伝統ある 地域社会の住民と行政などの「共生」をはぐくみながら、誰もが生 涯現役でいつまでも暮らしつづけられる都市づくりをめざします。

▲議会で就任のあいさつを述べる蓮池洋美議長

候の自然条件においては、島えてまいりました。風土・気まして、幾多の苦難を乗り越 域、延々と海岸線が続き、 にあって内陸部に位置する地 まざるご尽力、 旧三原郡は先輩・諸兄のたゆ 昭和の大合併から五十年、 ご功績により 古

なければなりません。理念に向かって邁進して

誠に身にあまる光栄であり、 初代の南あわじ市議会議長の 員各位のご推挙によりまして、 たしております。 要職に就くことになりました。 市議会臨時議会において、 もに、責任の重大さを痛感い 心から感謝申しあげます 第一回南あわじ 議

ります。行政と議会、市民が策でありスタートラインであ とは、 理想とする「まちづくり」の 一体となって、南あわじ市が 的ではなく、 三原郡民の英知と決断により でございます。 「南あわじ市」が誕生したこ 行政合併は、 このような節目の時期に、 誠に慶賀にたえません。

産業を中心に栄え、 水産業をはじめとした第一次 温暖な瀬戸内海に面し、 して発展を遂げ、 四国から 農業・

ごあいさつ

南あわじ市議会議長

蓮

池

洋

美

京阪神方面への交通の要所と 核的役割を担ってきたところ 一つの手段・方 到達目標・目 淡路島の中

の増進、 はかりながら、 続的振興・発展、 とも事実で、 市民の皆様方の深いご理解

重ねてまいる所存でございまたしましても誠心誠意努力を 組む新しい施策があいまって、 きるよう、我々議会議員とい 合併のメリットが十分発揮で してきた諸施策と新市が取り 商工業・観光業等の産業の持 ます。農業・水産業をはじめ、 整が最優先課題となっており くの問題が山積されているこ たわけではありません。数多 て、すべてが上手く調整されこれまでの合併協議におい 教育・文化の進展を 今後これらの調 旧各町が実施 健康と福祉

南あわじ市の概要 ■人口:54,790人 ■世帯数:17,971世帯 ■自治会数:202 ■面積:229.17kmi ■学校:小学校20校、 中学校7校、高校2校 ■消防分団数:77分団 ■消防団員数:2,119人 ■市議会議員数:59人 ■市職員数:656人

平成17年1月11日現在

うお願い申しあげ、式辞とご支援とご協力を賜ります 市」発展ため、 皆様の一層の

市では、四町の寺でです。新を踏み出したところです。新て、新しい時代の新たな一歩で、新しい時代の新たな一歩 のもてるまちづくりを進める歩づつ歩みを進め、夢と希望地域の問題や課題の解決に一 命であると認識しております。 続けられる、 とを誇りとして、 ことが私たちに課せられた使 に創りあげることが必要です。 あわじ市」に生まれ育ったこ明日を担う子どもたちが「南 みを続けなくてはなりません。 高い目標に向かって力強い歩 かったと評価してもらえる、 ながらも、 「南あわじ市」に愛着を持ち 未来に羽ばたく「南あわじ 行政と住民が協働しながら、 後世に合併して良 すばらしいまち いつまでも

南あわじ市は市民の

3 2005.2.1発行

願 13

しあげますとともに、 と絶大なるご支援をお

いさつといたしま、ご鞭撻を賜りま